

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立飛騨神岡高等学校		
実 施 期 間	平成26年10月16日(木)～22日(水)、10月28日(火)		
実 施 概 要	①白樺祭(学校祭・・・10/16,17) ②授業公開(10/20～22の5,6限) ③社会人講話(10/28 5,6限) ・保護者、地元住民および卒業生、地元中学校生徒、介護老人施設への公開 ・育友会バザー実施(白樺祭) ・学校評議委員への公開		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他 公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	172	人
	地 域 関 係 者	133	人
	計	305	人
実 施 状 況	本校の文化祭「白樺祭」が行われた週に、10月16(木)、17日(金)の開催日を一般公開した。また、育友会主催のバザーが開催されるため、文化祭前に打ち合わせを兼ねて保護者が来校され準備に参加した。 一般公開のために、地元の週刊新聞への掲載や広報によるPR、神岡町内の小中学校及び保育園、飛騨市の特別支援学校へ案内文を配布、また本校ホームページでも日程やプログラムを公開して、本校生徒の取り組みや本校総合学科の特徴を知る機会となるよう広報活動を行った。 2日間ともに、朝早くから多数の方々に来校していただき、本校生徒の展示作品やステージでの演劇、文化系部活動の成果発表等を見ていただいた。また、育友会バザーには保護者の手伝いとして家庭クラブ委員の生徒が加わって交流し、介護老人施設からの来校者には文化委員が案内役を務めた。 今年度は、連携中学校の神岡中学校1年生60名と教諭3名の合計63名が初日の午前中に発表を見学した。 また、文化祭後の3日間、午後の授業2時間を地域に公開し、10月29日には地元社会人の講話への参加も呼びかけた。		
成 果 及 び 課 題	地元の、地域に開かれた高校として、本校文化祭は年中行事として定着している。文化祭は、本校生徒の姿や充実した学校施設、小規模校であってもクオリティの高い実践発表などを通して、地域に本校の存在感をアピールすることができている。文化祭後の授業公開で来校される保護者はごく少数である。総合学科の特徴や本校の実績等日常の教育活動の成果が認知される機会としては不十分である。そのため、今年度で2回目の開催となるが「オープン飛騨神」を6月に行うことで本校総合学科の活動・授業実践を理解していただいている。「オープン飛騨神」には421名の来校があった。 また、地元中学校2校との連携型中高一貫教育においても、連携中学校からの参加が定着している。今後は、中学校と検討を重ね、文化祭とオープン飛騨神とともに高校入学を控えた3年生への参加を実現させたい。 一般来場者のアンケート結果から、本校生徒の生き生きとした取り組み姿勢に評価をいただき、文化祭の内容についても高い評価をいただいた。昨年以上に、地元の方々への理解と期待が伺え、大きな成果である。 課題としては、地域への授業公開についての情報提供のあり方、公開する時間帯等検討し、気軽に参観できる機会としての工夫が必要である。また、さらに「地域との合同活動」、「地域への情報発信」の場としての機能を果たし、学校や地域の活性化につながる方策を検討していきたい。		